

4月9日（子宮の日）の イベント報告

このたびの東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興とご健康の回復をお祈りしております。

さて、4月9日が「子宮頸がんを予防する日」として記念日登録され、全国各地で啓発活動が行われています。昨年までは街頭でのピラ配りなどを中心に活動を行っていましたが、今年はさらにより多くの人に知っていただきたく、ステージを組んでのイベントという形で啓発活動を開催しました。当初は東日本大震災発生により全国で自粛ムードがある中、開催自体の是非についてスタッフ間で協議しました。現在日本の死因の第1位であるがんでなくなる方が年間約34万人おられるということで、我々はがんの検査をしている立場であり啓発活動も大事なことと考え、予定通り4月9日に開催することにいたしました。当日のイベントは2部構成で行いそれぞれ三宅技師、加藤技師による子宮頸がんに関する講演をしていただきました。そして1部、2部共に同志社大学の学生サークル活動で、子宮頸がんに関するアンケート調査を行った吉田さんに調査報告をしていただき、ゲストとしてダウンタウン松本さんの実兄で、社会貢献的エンターティナーとして活躍をされている松本 隆博氏によるライブ&トークで盛り上げていただきました。また、第2部では講師の方々及び、松本さんをパネラーとしてパネルディスカッションも行い、問題点を挙げながらより分かりやすく子宮頸がんに関わる話を進めていただきました。当日は子宮頸がんを考える会より送られてきたピラや小冊子、啓発用のカードなどの配布物を1000部以上配る事ができ、より多くの人々に知ってもらっかけができたのではないかと思います。

今回、非常に多くの協力をしていただいた無料マガジン「ほすびた」の北川さん、細胞学会京都府支部 細胞検査士会の皆様、ボランティアで来て頂いた技師会員の皆様、「ほすびた」へスポンサー協力をいただいた各企業の皆様など、協力いただいた全ての皆様に感謝いたします。また、この啓発活動に賛同いただいたヤサカタクシーさんには、ハイブリッドタクシーに今回の啓発活動のロゴである「LOVE49」をプリンティングして京都市内で走らせていただくなど、ご協力をいただきました。もしかして街中で「LOVE49」のプリントをしたタクシーを見られた方もおられるのではないのでしょうか。

来年以降も啓発活動を継続できるようスタッフ一同努力して行こうと思います。

病理・細胞研究班 江口 光徳

